

# どんな子みつけ！

もうすぐ夏休み、そして年長さんのお泊り保育！という大事な行事が控えている中の臨時休園。忘れられない苦しかった思いがよぎりました。

ちょうど2年前。お泊り保育の前日に年長さんのご家族に新型コロナの濃厚接触該当者が出てしまい、感染拡大の心配から、中止せざるを得なかったことがあります。当初は“延期”の予定でしたが感染が収まることはなく、結局、幼稚園に泊まらせてあげることが出来なかったのです。子どもたちがお泊り保育に向けて、期待や頑張りたい気持ちいっぱい盛り上がっていたのに、健康第一とはいえ苦しかった…そんな経験があり、今回、お泊り保育実現に向けて休園という選択させていただきました。お陰さまで感染が広がることなく、万が一に備えての欠席や早退のお子さんもいましたが、無事にお泊り保育を開催することが出来ました。ご協力ありがとうございました。

子どもたちに『お泊り保育』を体験してほしいのは、ご家族と離れて自分のことを自分でしたり、友だちと衣食住を共にするという、初めての体験から得るものがあるからです。“自分で出来た！”という思いが大きな自信になることは間違いないです。そして、与えられた環境にただ参加するのではなく、みんなと相談したり、どうしたらよいかを考えたり、いろいろな準備をすることで、楽し

いことも大変なことも感じながら、それぞれがより深く一生懸命関わることで、更にと“びっきりの初体験”となるようにと願って活動しているわけですが……。必ずしもみんながワクワク楽しみ～というわけではない様子。お家では、「泊まりたくない」とか、「食べられないものがあるかイヤ」とか、「家族と離れたくない」などの思いがあるのも仕方のないことです。（2年前、お泊り保育が中止になったことで“ヨッシャー”とガッツポーズをした男の子がいたとかいないとか…笑）でも、生まれてからまだ5～6年の小さな子どもたちには、“やってみなければ楽しいかどうか分からない！”という気持ちで、ぜひ体験してほしい。楽しみな子は、ドキドキしている子の手を引っ張って、ドキドキの子も背中を押されてやってみたら楽しかったという思いをとにかくみんなで味わってほしい！それは、幼稚園という集団の中だからこそ、叶えられる一日だとも思って活動してきたのです。

今年もとびっきりの体験をしたであろう年長さんは、お家に帰ってからどうだったでしょうか？今年には食事に苦戦する子が多かったようですが、どの子にも、“挑戦し隊”の姿が印象的でした。お子さんからの泊り報告だけでなく、そして、1学期と一緒に過ごしてきた年中・年少さん！ふとした瞬間に、お子さんの成長を感じていただける夏休みになることを願っています。

楽しいお休みを！  
2学期もよろしくね！



# こなな

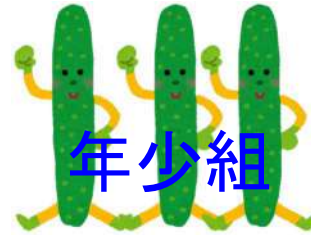
「こなな」は、ようちえんで起こる  
こななとき・こななこと・こ～んなにを  
折々お届けします。

## 緊張しちゃった！

いよいよ課外の体験教室スタート！帰りの会が終わってから、年中・年長さんが幼稚園に残ってサッカーやお勉強をする姿を見て、秘かに憧れていた年少さん。「私もやりたい！」とやる気満々で体験の日を楽しみにしていたようです。

待ちに待った体験当日。参加する様子を覗いてみると…無表情でお母さんのお膝にじーっと座るTちゃん。声を掛けても突っついて、まるで別人。あのやる気はいったいどこへ！？でもそれはそうです。初めてですもの！年少さんですもの！と思っていました。

次の日、体験の感想を聞いてみると…「初めてだったから緊張しちゃった。でも楽しかったから入るんだ～」とTちゃん。「緊張」という言葉やその感覚がよくわかっていること、そして、ちゃんと楽しさを見出している姿にもびっくりしました。



園の中では先生にイタズラしちゃう程！はじめて過ごしている年少組。

## ちょっと失礼！



“イス取りゲーム”も仲良しなんだと、ゲームになりませんね！（笑）

玄関ホールにある印刷機の前で、「何してるの？」とKくん。「お手紙を印刷しているのよ」と伝えると、どれどれ～と機械から出てくるお手紙をじっと眺めます。すると別の子が「何してるの？」と聞いてきたので答えると覗き込み、また次に女の子も入って覗いてきました。次第にお手紙が溜まってきたので私が、「ちょっと失礼」と言ってお手紙の束を取って数えます。すると印刷される度に1枚ずつ手紙を取って手渡してくれるようになりました。そうこうしているうちに、自然と、1・2・3・1・2・3と、順番ができてきました。次から次へお手紙が出て来るので順番わからなくなるようで、間違っって手を伸ばすと、「私よ！ちょっと失礼」と言っってたしなめたり、「ごめんごめんどうぞ」と勧めたり。その後は…“ちょっと失礼ごっこ”がしばらく続いたのでした。

## 発見！挑戦し隊



“ピーマンだって頑張っって食べた！”挑戦の姿がいっぱいだった年長組。

「あ～お泊り保育楽しみ。早く来ないかな～」そんな声が飛び交っていたお泊り保育までカウント10。やりたいことや食事のメニューなど、年長組みんなで相談が始まった矢先の臨時休園。みんなで話し合いながら、期待を盛り上げたり、難しいことも乗り越えようとする気持ちを育む時間を共有させてあげられなかったかな…と心配していました。そんな折、休園中のお預かりに来ていた年長組に、「もうすぐお泊り保育だね！心配事はないかしら？」と聞いてみました。すると…

- 年長Dくん：「僕はね。寝るときお人形がないと寝られないの」
- 年長Yちゃん：「お泊り保育は、お友だちがいるから大丈夫だよ。お人形が居なくても挑戦するんだよ。」
- 先生：「あれ？でもYちゃんお野菜食べられな～って言うんでしょ？」
- 年長Yちゃん：「違うよ！嫌いな食べ物とかも挑戦する日なんだよ！だから、頑張るの！」
- 年長Dくん：「そうだね！年長なんだから頑張らないと！」
- (…と顔を見合わせて頷く2人)

そんなやりとりを聞いて、びっくり。普段Yちゃんは食べる物に対して苦手が多く、お母さんも心配しているほどでしたが、『頑張りたい気持ち』がちゃんと育っているのを感じて、ホッと嬉しくなりました。

## こ～んな子みつけ！



プールのに入る前の準備体操。なかなかの気合で力持ちのポーズ！



ママ泣かせの…  
泥んこパック！

